令和
7年度
決算

市の財政状況をお知らせします

実質収支は約12億円の黒字で、財政調整基金より約9億円を繰り入れており、実質単年度収支は約3億2300万円の赤字となりました。

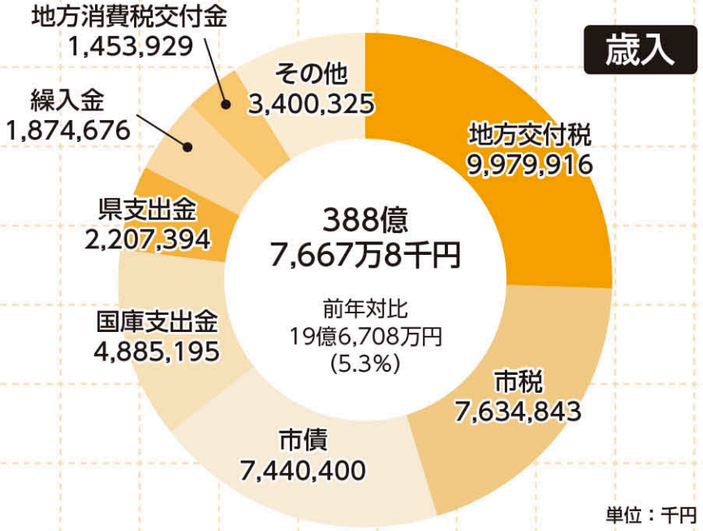
財政健全化法に基づく判断比率については、いずれも国の定める基準を下回っており、財政状況は「健全」な範囲となっています。

今後は、歳入では、人口減少などにより市税や地方交付税の減少が見込まれ、歳出では、老朽化した施設・設備の更新、防災・減災への対応、物価高騰に伴う物件費や人件費の増加など、新たな課題への対応が見込まれるため、更に厳しい財政状況になると予想しています。

そのため、経費の節減に努めつつも、市の発展に必要な事業については、財政調整基金などを活用し取り組んでいきます。

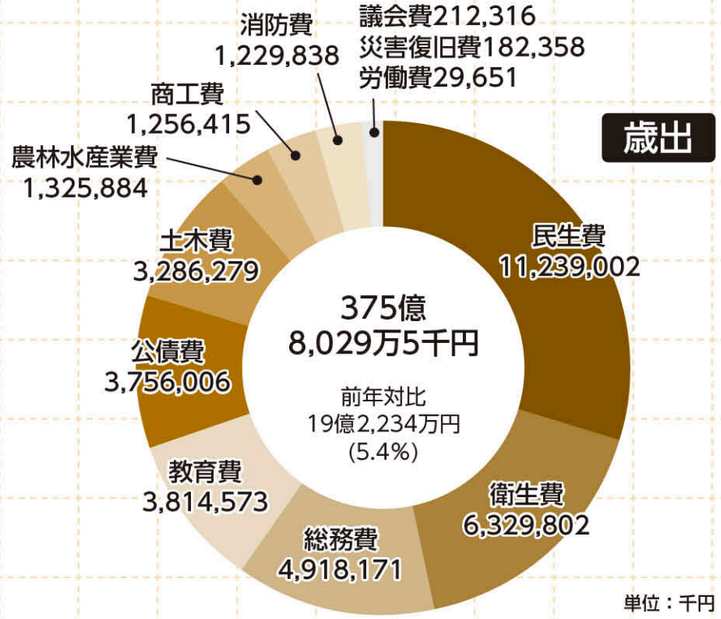
▼問合せ　財政課　℡89・2122

歳入



単位：千円

歳出



単位：千円

令和7年度一般会計

歳入　約389億円
5.3%増

歳出　約376億円
5.4%増

【一般会計（内訳は円グラフ）】

実質収支は約12億円の黒字となりました。

①歳入総額	388億7,667万8千円
②歳出総額	375億8,029万5千円
③差引（①－②）	12億9,638万3千円
④翌年度へ繰り越すべき財源	1億4,933万4千円
⑤実質収支（③－④）	11億4,704万9千円
⑥前年度実質収支	11億8,694万5千円
⑦単年度収支（⑤－⑥）	△3,989万6千円
⑧財政調整基金積立金	5億9,597万4千円
⑨繰上償還金	0千円
⑩財政調整基金取崩	8億7,911万1千円
⑪実質単年度収支（⑦＋⑧＋⑨－⑩）	△3億2,303万3千円

【健全化判断比率】

●実質赤字比率	△ 6.70%(12.64%)
●連結実質赤字比率	△24.37%(17.64%)
●実質公債費比率	9.4%(25.0%)
●将来負担比率	93.0%(350.0%)

※カッコ内は国が定めた早期健全化基準。能代市はいずれも適正な水準となっています。

特別会計決算の内訳　単位：千円

特別会計とは、一般会計とは別に特定の歳入と特定の歳出を区分して経理する会計です。

特別会計名	歳　入	歳　出
農業集落排水事業	21,309	20,983
浅内財産区	3,368	3,368
常盤財産区	3,284	3,284
鶴形財産区	1,041	1,041
檜山財産区	1,258	1,258
国民健康保険	5,264,562	5,127,751
後期高齢者医療	895,362	895,051
介護保険	8,007,338	7,557,949
合　計	14,197,522	13,610,685

令和7年度に取り組んだ主な事業

元気で魅力あるまち

移住定住環境整備事業費 …… 3,702万円
恋文のまちづくり推進費 …… 1,065万円
二ツ井町庁舎大規模改修事業費 …… 3億1,800万円
能代市総合体育館大規模改修事業費 … 6億5,070万円

笑顔で人が輝くまち

子ども・子育て支援事業費
（施設型給付費・委託費） …… 13億4,226万円
スクールＤＸ推進事業費 …… 5,886万円
向能代公民館改築事業費 …… 1億2,835万円
学校給食無償化事業費 …… 1億8,566万円

豊かで活力あるまち

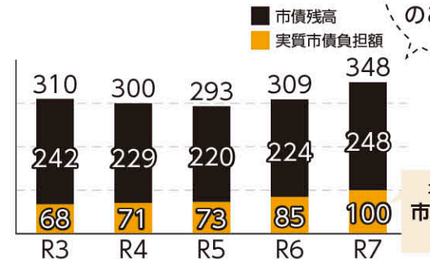
企業連携事業費 …… 2,541万円
ねぎ産地持続発展対策事業費 …… 1,715万円
森林・林業活性化総合支援事業費 …… 6,404万円
企業誘致推進事業費 …… 8,849万円

安心で暮らしやすいまち

防災対策費 …… 1億3,586万円
地域公共交通活性化事業費 …… 9,390万円
除排雪対策費 …… 5億7,580万円
住宅リフォーム支援事業費 …… 6,620万円

市債残高と実質市債負担額の推移

市債とは市の**借金**のことです

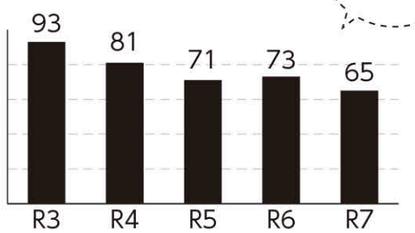


オレンジ部分が**市が負担**している市債額です

単位：億円　※一般会計分

基金残高の推移

基金とは市の**貯金**のことです



単位：億円　※一般会計分